

岡病院だより

Vol.67

令和3年4月1日発行



トピックス

ワクチンとは…

新型コロナワクチンの接種が始まりましたが、そもそもワクチンの働きとは何でしょう。

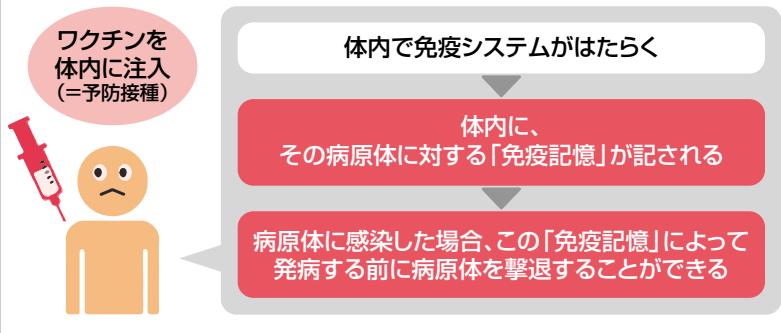
免疫ができるって？

ヒトの体に病原体が侵入すると、まずは白血球（好中球やマクロファージ）が働き病原体を攻撃し侵入を防ぎます。これは「**自然免疫**」といい、生まれつき体に備わっている仕組みです。同時にβ細胞で病原体にぴったり合う抗体を作ります。抗体は免疫グロブリンといわれる蛋白で、機能するまで1週間以上かかります。一度抗体ができると再び同じ病原体が侵入してきた時に、一度目よりも速やかに増産されて病原体を排除するよう働きます。これが「**獲得免疫**」です。

ワクチンは抗体を意図的に作り出して病気が発病したり、重篤化するのを予防します。

「感染」しないわけではないので、感染対策は継続する必要があります。

ワクチンのはたらき





【鼠径ヘルニア(脱腸)と当院での手術法「Kugel法」について】

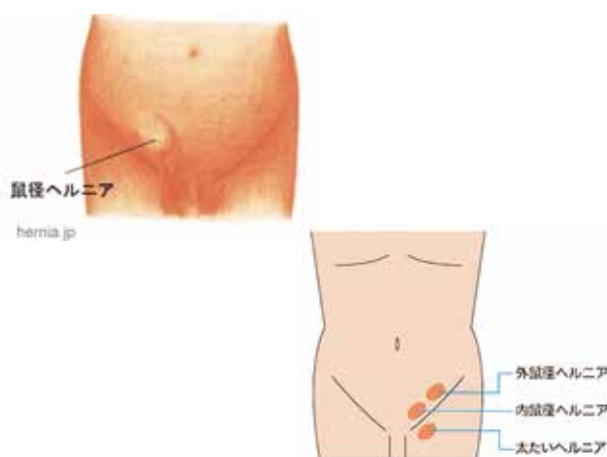
医療法人桂水会 岡病院

医師 小島 和人

桜の便りが次々に聞かれるこの折、皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて、私が当院に着任してから治療が始まった「鼠径ヘルニア(そけいヘルニア)」と、それに対する手術法である「Kugel法(くーげる法)」について今回説明させて頂くことで、時候の挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。

概要

そもそも鼠径ヘルニアとは、一般的に「脱腸」と呼ばれる良性の病気です。加齢などによって下腹部から足の付け根(鼠径部)の組織が弱くなり、その部分(ヘルニア門)からお腹の臓器を覆っている腹膜が袋状(この袋をヘルニア嚢と言います)に飛び出し、小腸や大腸、内臓脂肪などのお腹の中の臓器(これらをヘルニア内容と呼びます)が飛び出てくることによっておこります。また、鼠径ヘルニアとは内鼠径ヘルニア・外鼠径ヘルニア・大腿ヘルニアの3種類があり、鼠径部のどの部分から脱出するかで分けられています。鼠径ヘルニアの手術件数は年間150000件ほどになると言われ、これは胃癌(133000件/年)や大腸癌(135800件/年)の手術件数を上回ります。



原因

先天的な原因と後天的な原因に分かれます。

前者は、生まれてからもお腹と鼠径部の交通する袋(腹膜鞘状突起)が閉じないでいることで、赤ちゃんが泣いた時やお腹に力が入った際に、お腹の中のものが袋の中に滑り出てきてしまうものです。

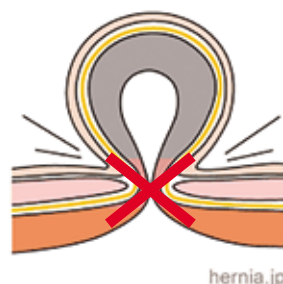
後者は、年を取って鼠径部の壁が弱くなり腹圧に負けるようになることで、そこからお腹の中のものが飛び出してしまふものです。

40歳代の発症では鼠径ヘルニアの発生に職業が関連している可能性が指摘されており、腹圧のかかる作業従事者や、立ち仕事をされている方に多いと言われております。また、喫煙、便秘症、前立腺肥大症、よく咳き込む方なども注意が必要と言われ、肥満や妊娠なども誘因とされています。

症状

鼠径部に弾力のある膨らみが現れます。膨らんだ中身は小腸や大腸などのお腹の中の臓器です。初めの頃は立って下腹部に力を入れた時などに膨らみ、横になったり膨らみを押すことで戻ることが多いです。出たままの状態が続く、普段より多く脱出した場合に、周囲の組織に締め付けられて戻らなくなってしまう「嵌頓(かんとん)」という状態になることがあります。そうすると鼠径部に痛みが出たり、腸が脱出した場合は腸閉塞の症状として腹痛や嘔吐、便が出なかったり、膀胱が脱出した場合はおしっこが出にくくなったりと、飛び出している臓器で症状は様々です。嵌頓が続き、血流が途絶え始めると「絞扼(こうやく)」という状態になり、放っておくと小腸や大腸などが壊死を起し生命に係わる可能性もあります。

「嵌頓のイメージ」



●検査、診断

基本的に診察のみで診断がつくことが多いですが、症状があいまいなものや鼠径部の膨隆がわずかな場合や、膨隆の位置や還納される位置が典型的でない場合、診察時に膨隆が確認できない場合などは、画像検査を追加することで診断の助けになることがあります。

●治療

これまでの説明からもわかるように、この鼠径ヘルニアとは「物理的」な問題であり、お薬などで治ることはなく、手術をしないと治りません。

手術方法はⅠ鼠径部切開法とⅡ腹腔鏡下手術に分けられます。以下にその代表的な手術方法を記載しておきます。

Ⅰ 鼠径部切開法

- ①従来法（組織縫合法） …※
- ②リヒテンシュタイン法
- ③メッシュ・プラグ法
- ④PHS法とUHS法
- ⑤クーゲル法
- ⑥ダイレクト・クーゲル法
- ⑦バードポリソフト法
- ⑧オンステップ法

Ⅱ 腹腔鏡下手術（全身麻酔が必要）

- ⑨腹腔内アプローチによる腹腔鏡下ヘルニア修復術（TAPP法）
- ⑩腹膜前腔アプローチによる腹腔鏡下ヘルニア修復術（TEP法）

（開発・考案された年代順に記載）

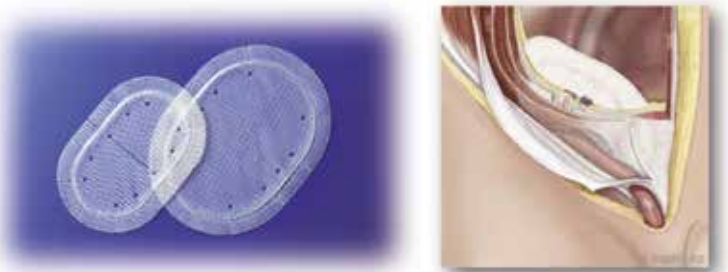
※①のみが直接穴を縫い塞ぐ組織縫合法であり、②～⑩はメッシュ法といて、メッシュを用いて穴および周辺を補強する方法となります。

●当院で採用している Kugel 法について

上記のように数多くの手術方法がありますが、当院で主に行っているのは⑤クーゲル法になります。これは鼠径部切開法の中で唯一ヘルニア門に対し後ろ側から到達する後方アプローチができる手術法となります。

1999年にアメリカのクーゲル先生によって考案された手術方法です。形状記憶リングが装着された二重の補強剤（ポリプロピレン製メッシュ）を用いて腹膜のすぐ外側を広く覆い、鼠径部の弱い部分全体を一度に補強して腸などが出てくるのを防ぎます。

当院ではこのKugel法を用いて2泊3日の日程で治療を行っておりますが、前立腺全摘出後の方など、既往症によってはKugel法が行えない場合があります。その場合は③メッシュ・プラグ法にて治療を行います。



「(株)メディコンより」

●最後に

今回とりあげた『Kugel法』は鼠径ヘルニアの治療法として世界で20年以上行われている手術方法になります。ヨーロッパヘルニア学会（ヘルニアの世界では最も権威がある学会といっても過言ではありません）での発表でも、後方アプローチでのメッシュの留置位置の有用性（より深いところにメッシュを留置することで術後の違和感が少ない、一度に全体を補強できる等）に言及するなど、同位置にメッシュを留置する『Kugel法』は患者様にとってメリットの大きい手術方法であると考えております。

患者様方におかれましては、気になることなどございましたらお気軽に外来スタッフ等にお声がけいただければと存じます。また、地域の先生方におかれましては、気になる症状の患者様などいらっしゃいましたらお気軽にご連絡ください。早急に対応させていただきたいと存じます。

当院は、本庄市を中心とした周辺地域にお住いの皆様へ、よりよい医療を提供できるよう日々精進して参りますので、これからも何卒宜しくごお願い申し上げます。

理 念

地域医療に貢献する。

基本方針

- 1 より高度な医療と看護の提供を目指す。
- 2 患者様の立場に立った医療を実践する。

私たち岡病院職員一同は上記を実践するために以下のとおり、努力致します。

- 1 職員一同は日々研鑽し、医療の質の向上とサービス・業務の改善に努めます。
- 2 内科の二次救急病院として、地域住民の健康と福祉に寄与致します。
- 3 透析施設を有する病院として、安全で快適な治療の提供に努めます。

患者様の権利と責務について

権 利

- 1 患者様は病状・治療方針について十分な説明を受け、診療情報を得る権利をもちます。
- 2 患者様は診療情報を理解する権利をもちます。
- 3 患者様は治療方針と医療機関を選ぶ権利をもちます。
- 4 患者様はプライバシーの配慮と秘密を守られる権利をもちます。
- 5 患者様は希望にて、他の専門医に意見を聞く権利をもちます。

責 務

- 1 患者様は当院に病状・既往歴（現況も含む）・保険情報・住所等、診療に必要な情報を正しく伝える責務をもちます。
- 2 患者様は当院のルールを守り、治療に協力する責務をもちます。

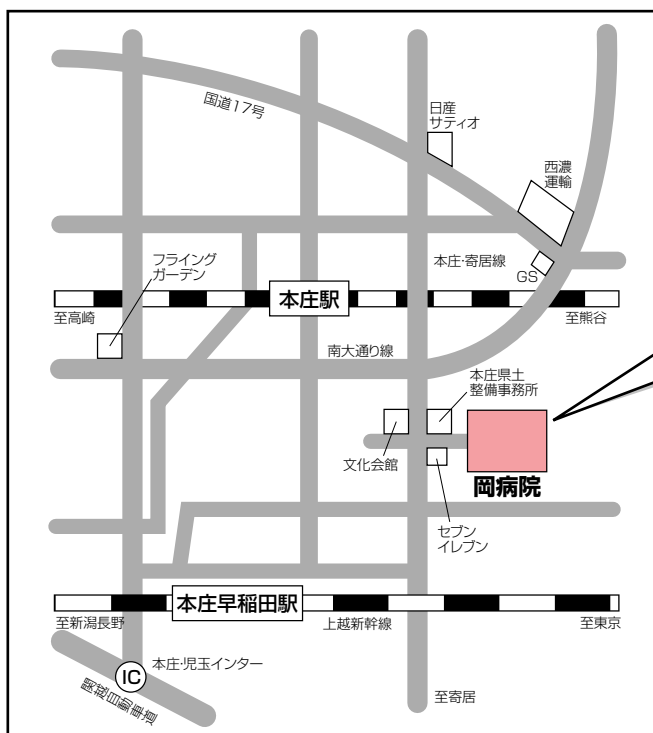
個人情報保護

当院は、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。
個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

医療相談について

療養その他でのお悩みごとやお困りのこと、ご不明のこと等がございましたら医療相談室、薬剤相談室、食事相談室にてご相談をお受けいたします。

- 1 階受付にて申し込み、又は担当の医師、看護師にお申し出下さい。



(公財)日本医療機能評価機構認定



医療法人 岡 病院
桂水会

OKA HOSPITAL

〒367-0031 埼玉県本庄市北堀810番地

TEL 0495-24-8821(代) FAX 0495-21-7640(代)

URL <http://www.oka-hospital.jp/>

発行日：令和3年4月1日

発行：岡病院

編集：広報委員会